

官報

號外 昭和二十年十二月八日

○第八十九回 貴族院議事速記録第十三號

昭和二十年十二月十七日(月曜日)午後一時七分開議

議事日程 第十三號

昭和二十年十二月十七日

午後一時開議

第一 鹽專賣法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第二 昭和二十年法律第十八號中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第三 貿易資金設置ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第四 農業團體法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第五 水産業團體法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第六 戰時森林資源造成法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第七 蠶絲業法改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會(續)委員長報告

第一讀會(續)委員長報告

第一讀會(續)委員長報告

第一讀會(續)委員長報告

○議長(公爵徳川昭順君) 一昨十五日公爵三橋實春君等御付付ラレタルニ依リ、貴族院議員ニ就職セラレマシタ、仍テ其ノ部屬ヲ第四部ニ定メマシタ

○議長(公爵徳川昭順君) 報告ヲ致サセマス

(小野寺書記官朗讀)

昨十六日農地調整法中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 男爵稻田 昌植君

副委員長 子爵保科 正昭君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

鹽專賣法中改正法律案可決報告書

昭和二十年法律第十八號中改正法律案可決報告書

貿易資金設置ニ關スル法律案可決報告書

農業團體法中改正法律案可決報告書

水産業團體法中改正法律案可決報告書

戰時森林資源造成法中改正法律案可決報告書

蠶絲業法改正法律案可決報告書

○議長(公爵徳川昭順君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、昨十六日近衛公爵

御承知ノ如ク昭和六年一月ヨリ本院副議長ニ任セラレ、又昭和八年六月以降

十二年六月迄四箇年本院議長ノ職ヲ勤

メラレマシタ、此ノ度去セラレマシタコトハ、誠ニ哀悼ノ至リニ堪ヘマセ

ス、仍テ弔辭ヲ贈リタイト存ジマス、御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川昭順君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川昭順君) 日程第一、鹽專賣法中改正法律案、日程第二、昭和二十年法律第十八號中改正法律案、日程第三、貿易資金設置ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

ノ續、委員長報告、是等ノ三案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川昭順君) 御異議ナシト認メマス、委員長高橋子爵

鹽專賣法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二十年十二月十六日

委員長 子爵高橋 是賢

貴族院議長公爵徳川昭順殿

昭和二十年法律第十八號中改正法律案

昭和二十五年三月三十一日

第三編 官報

昭和二十年十二月十六日
委員長 子爵高橋 是賢
貴族院議長公爵徳川昭順殿
貿易資金設置ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和二十年十二月十六日
委員長 子爵高橋 是賢
貴族院議長公爵徳川昭順殿

○子爵高橋是賢君 只今議題トナリマシタル鹽專賣法中改正法律案外二件ノ特別委員會ニ於ケル審議ノ經過及ビ結果ニ付テ御報告ヲ致シマス、本委員會ハ夫ル十五日開會致シマシテ、正副委員長ノ互選ヲ行ヒ、引續キ會議ヲ開キ、政府御當局ヨリ各法案ニ付キマシテ詳細ナル説明ヲ聴取致シ、昨十六日迄審議ヲ續ケマシテ、三法案ハ孰レモ可決スベキモノト決定致シテ次第デゴザイマス、以下各法案ニ關スル主ナル質疑應答ノ二三ヲ御紹介申上ゲマス、先ヅ鹽專賣法中改正法律案ニ付テ申述ベマス、此ノ法案ノ目的ハ鹽ノ増産ヲ促進スル爲ニ隘路トナルヤウナ諸點ヲ改正スル爲メ法案デアリマシテ、即チ色々ノ從來ノ制限ヤ規則等ニ拘ラズ勒令ヲ以テ別段ノ定メヲ爲シ得ルコトト致シ、又第十八條ニ價格ヲ一石當リ二圓五十錢ト規定シテアリマス、此ノ額ヲ超エテ賠償ヲ爲シ得ルコトト致シテ次第デゴザイマス、是ヨリ質疑ノ主ナルモノヲ申上ゲマスレバ、一委員ヨリ輸入輸入ノ狀況ニ付テ御質問ガゴザイマシタ、政府ハ輸入量ノ一番多カッタノハ昭和十四年度デアリマシテ、即チ百八十六萬トシテ輸入致シタサウデアリマス、以來逐年ニ減少ヲ致シマシテ、今年ノ上半期ニ於キマシテハ、四十

三萬トシテ、下半期ニ於キマシテハ二十萬トシテ云フ減少ヲ來シタノデアリマス、尙且下聯合國最高司令部ニ對シマシテ、輸入許可ヲ懇請中ノモノガ約三十四萬トシテ程アリマス、其ノ中ノ約三分ノ一ハ確實ニ許可サレ得ル見込みダサウデアリマス、又國內製鹽ノ狀況ニ付テモ御質問ガアリマシタ、國內製鹽ハ失張リ昭和十四年度ガ最高デアリマシテ、六十三萬トシテデアリマス、其ノ後漸次減少ノ一途ヲ辿リマシテ、今年上半期ニハ十二萬トシテ、下期ニハ九月ノ暴風雨ノ被害等ニ依リマシテ一層減少ヲ來タシ、詰リ鹽田ノ六割七分ガ罹災ヲ受マシテ、其ノ町步ハ二千八百町步程アリマシテ、ソレガ爲ニ僅カニ四萬五千トシテデアリマシテ、合計本年度ノ産出ハ十六萬トシテ、昨年度ノ産出デアリマス、尙之ガ政策ト致シマシテハ、被害鹽田ノ全部ヲ急速ニ復舊スル計書ヲ以テ各地方ニテ之ヲ復舊シツツアルトノ御答辯デアリマシタ、又一委員ヨリ民間ノ自給製鹽ニ對シテハ、ウ云フ方法ヲ以テヤルカト云フ御質問ガアリマシタ、政府ハ自給製鹽ニ對シテハ、復舊費ノ八割、即チ四千三百餘萬圓ノ費用ノ中ニ三千五百餘萬圓ヲ補助シテ、今後數年間ニ當業者ノ損害ヲ償ヒ得ルヤウニ鹽ノ値段ヲ引上ゲル方針デアリマシタ、尙製鹽ニ關スル概約ノ計畫ガアルカト云フ御質問ガアリマシテ、政府ハ大イニ計畫ヲ樹立シテ、來議會ニハ之ヲ提案シ御協賛ヲ得タイ積リデアルト云フ御質問デアリマシタ、又一委員ヨリ鹽ノ賠償政策ノ大要ニ付テノ御質問ガアリマシタ、政府ハ專用鹽ニ付テハ價格ナ原價計算ヲ致シマシテ之ヲ賠償シ、又日

一五

一五

一五

一五

一五

一五

給應ニ付テハ原價ニ六七分ノ利潤ヲ見込ミマシテ賠償ヲスル方針デアルトノ答ガアリマシタ、又一委員ヨリハ、鹽ノ取扱ニ關シテハ色々各方面ノ官廳ニ跨ツテ居ルヤウデアアルガ、之ヲ統括シテ一ツノ省ニ纏メル考ガナイカト云フ御質問デアリマシタガ、政府ハ鹽ノ生産、配給等ニ付テハ、商工省、農林省及ビ地方廳等ノ手ヲ煩スコトガ非常ニ多ク、併シ之ヲ執レノ省ニ纏メタガ宜イカト云フコトニ付テハ、大イニ考慮ヲ要スル問題ダと思フガ、元來鹽ノ專賣ノ目的ハ國庫ノ收益ヲ目的トシタノデアアルガ、近來其ノ目的ハ副ハズ常ニ赤字ヲ出シテ居ルヤウナ有様デアアルガ、唯從來ノ沿革上カラ大藏省ガ此ノ大元締メヲヤツテ居ルト云フニ過ギナイノデアアルト云フ御答辯デアリマシタ、尙一委員カラ日本ノ全使用量及ビ將來ノ需要量ト云フモノハドウデアアルカト云フ御質問デアリマシタ、デ政府ハ速キ將來ノコトハ豫測ニ難イガ、先ヅ茲數年間ノ見透シヲ豫想ハ、一箇年百十萬トシテ推定サレル、尙工業廳トシテ、百萬トシテ其ノ外ニアルカラ、合計先ヅ二百十萬トシテハ必要ダト考ヘルト云フ御答辯デアリマシタ、又一委員カラ、鹽ハ國民保健上ナカク、貴重ナモノデアアルガ、此ノ増産ニ當リ自給鹽ノ生産指導ガ、今迄ノ所ハ單ニ形式ニ流レテ居ル憾ミガアル、モウ少シ實績ヲシテ指導シタラドウカト云フ御質問モアリマシタガ、政府ハ御尤モデアアル、之ガ爲ニハ各方面ニ専門家を派出シテ指導シ、又實際ヲ觀察セシメテ懇切ナル指導ヲ行ツテ居ルノデアアルト云フコトデアリマシタ、尙成績ノ好イモノニ對シテ、表彰ヲシテヤル考ヘナイカト云フ御質問デアリマシタ、此ノ表彰ニ付テハ、其ノ考案トカ創意工夫ト云フモノヲ、唯紙ノ上デナク、之ヲ一旦實行ニ移シテ、其ノ上デ慎重ニ行フ方針デアアル、斯ウ云フ御答辯デアリマシタ、又鹽ノ消費ノ方面ニ付テ、大分無駄ガアルヤウデアアル、之ヲ排除スル目的ヲ以テ、生活科學協會等ヲ通ジテ節約ヲ獎勵シテ居ルト同時ニ、最近發見ニ及ンダ所ノ、鹽魚ノ爲ニ使フ鹽ヲ從來ノ三分ノ一ニ足リルヤウナ方法ガ發見サレタノデ、早速是ハ北海道方面ニ實施シテ著々實行ヲ致シテ居ル譯デアアル、又一委員ヨリ、二十年度ノ食糧用鹽ノ配給量ト、二十年度ニ於ケル配給量トドツチガ多クナルノカト云フ御質問ガアリマシタガ、政府ハ來年度ハ幾分配給ハ増加シ得ル見込ダトノ御答辯デアリマシタ、又他ノ委員カラ政府ハ増産促進ノ目的ヲ以テ買上値段ヲ引上ゲルト仰セダガ其ノ程度ハドウ云フモノデアラウカ、之ニ對シテ政府ハ、現在二百「グラム」ニ付テ五倍ト云フノデアアル「グラム」ニ付テ五倍位ニ引上ゲル考デアアル、サウシテ之ヲ引上ゲタ結果ハドウナルカト云フ、現在十五億六千萬圓ノ赤字ニナツテ居ルモノガ、價格引上ノ結果四百三十五萬圓ノ黒字ニナルト云フ計算ガ出ルノデアアルト云フ御答辯デアリマシタ、先ヅ鹽ニ付キマシテハ此ノ位ノコトヲ申上ゲテ置キマス、次ニ昭和二十年法律第十八號中改正法律案ニ付テ申上ゲマス、是ハ所謂赤字公債デアリマシテ、別ニ大シタ御質疑ガアリマセヌデシタガ、一委員ヨリ、此ノ公債ハ本年度ニ發行スルノデアアルカト云フ御質問ガアリマシタ、之ニ對シテ大藏大臣ハ、發行スル意思デアアルト云フ御答辯ガアリマシテ、其ノ外ニ何

等御質疑ハアリマセヌデシタ、最後ニ貿易資金設置ニ關スル法律案ニ付テ申上ゲマス、貿易物資ノ製作ニ必要ナル原料ト云フヤウナモノハ、政府カラ特別ニ心配シテ配給シテ賣ヘルノカト云フ御質疑ガアリマシタガ、政府ハ、是ハ本當ノ眞ノ貿易トハ言ヒ難イノデ、唯聯合國司令部トノ間ノ話合デ以テ成ルツ貿易デアアルカラ、眞ノ貿易トハ言ヒ難イノデアアルガ、併シサウ云フ場合ニ原料、材料ガ必要トアレバ、政府ハ極力其ノ獲得ニ努力スル考デアアルト云フ御答辯デアリマシタ、又貿易物資ノ價格ニ付テ御質問ガゴザイマシタ、是ハ貿易物資ヲ製作スル上ニ、今日迄丸公デアアルトカ、或ハ九一八トカ云フモノデ對付ニサレテ居ル爲ニ、非常ニ不利デアアル、又製作者ノ努力スル意思ガ薄ル、是ハ政府ハドウ考ヘテ居ルカト云フ質問デアリマシタ、政府ハ價格ヲ如何論丸公ヤ九一八デ將來キツテ行カウト云フコトハ無理デアアル、仍テ今後之ガ價格ノ決定ニ付キマシテハ、委員會ヲ設ケマシテ、サウシテ決定スル、委員會ヲ爲替ニ付テモ今考慮中デアアルガ國際價格ニ依ルコトトシテ、「アメリカ」ニ對シテハ「ドル」ヲ用ヒル、「建」ニスルト云フコトノ御答辯デアリマシタ、同一委員ヨリ、委員會精簡デアアルガ、此ノ委員會ノ組織ト云フモノニ付テハ餘程慎重ニ御願ヲシナケレバナラヌと思フ、ドウ云フ風ナ御考デアラウカト云フ御質問デシタ、政府ハ、此ノ委員會ノ仰セラレタ通り、今日ノヤウニ商業道徳ノ煩廢ト云フヤウナコトハ大イニ此ノ製作ニ關係ヲ持チ、悪影響ヲ及スノデアアルガ、此ノ道徳ノ高揚、或ハ科學知識ノ推進ニ付テ、或ハ石炭ノ如キモ製作上甚ダ必要ナ物デアアルカラ、是ハ

モウ貿易上カラ見テ忽セニ出來ナイモノデアウテ、大藏當局トシテハ十分之方獲得ニ努力スル考デアアルト云フ御答辯ガアリマシタ、又一委員ヨリ、今日ノ日本ノ商工經濟ノ現状ハ實ニ寒心スベキ色々ナ缺點ガアルガ、政府トシテハドウ御考ニナラウカト云フ御質問デアリマシタガ、政府ハ出來得ル限り劣等品ヲ作ルト云フコトヲ排除シ、優等品ノ製作ヲ獎勵シテ、サウシテ商工組合等ノ戰時色ヲ拂拭シテ、サウシテ例ヘバ纖維トカ、鐵トカ云フヤウナ量のニ乏シイ物ニ付テノ統制モ、官ノ指示ニ依ツテデナク、民間團體ノ創意ニ依ルノヲ宜イト考ヘル、ソレデ來議會ニハ具體案ヲ得テ之ニ關スル法案ヲ提出、協議ヲ得タイト考ヘテ居ルト云フ御答辯デアリマシタ、尙一委員ヨリ石炭ノ見込ハドウデアアルカト云フ御質問デアリマシタガ、當局ハ去ル十一月中旬ガ「底」デアアル、ソレカラシテ今日漸増ノ傾向ヲ辿ツテ居ル、政府トシテハ之ガ爲ニ從業者ノ待遇及ビ賃銀ノ値上等種々改善ノ手ヲ盡シテ居ルト云フ御答辯デアリマシタ、先ヅ其ノ位ナ所デ止メテ置キマシテ、此ノ三案ニ付キマシテ討論ニ入りマシタガ、何モ御意見モ出ズ、次デ採決ニ入りマシタガ、各案共ニ原案ノ通り滿場一致ヲ以テ可決スベキモノト決定致シタ次ガゴザイマシタ、甚ダ簡便デアリマシタガ、此ノ御報告ヲ終リマス

○議長(公爵徳川國順君) 別ニ御發言モナケレバ、三案ノ採決ヲ致シマス、三案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川國順君) 三案ノ第二讀會ヲ開キマス、三案全部、第二讀會ノ決議通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川國順君) 日程第四、農業團體法中改正法律案、日程第五、水産業團體法中改正法律案、日程第六、戰時森林資源確保法中改正法律案、日程第七、蠶絲業法改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、是等ノ四案ヲ一括シテ議閣ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(公爵徳川國順君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川國順君) 三案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問題ニ供シマス、三案全部、委員長ノ御報告通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川國順君) 三案ノ第三讀會ヲ開キマス、三案全部、第三讀會ノ決議通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川順昭) 御異議ナシト認メマス、委員長徳川伯爵

農産團體法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二十年十二月十六日
委員長 伯爵徳川 宗敬
貴族院議長公爵徳川順昭殿

水産業團體法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二十年十二月十六日
委員長 伯爵徳川 宗敬
貴族院議長公爵徳川順昭殿

戦時森林資源造成法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二十年十二月十六日
委員長 伯爵徳川 宗敬
貴族院議長公爵徳川順昭殿

蠶絲業法改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二十年十二月十六日
委員長 伯爵徳川 宗敬
貴族院議長公爵徳川順昭殿

〔伯爵徳川宗敬君登壇〕
○伯爵徳川宗敬君 只今議院トナリマシタ農産團體法中改正法律案外三件ニ關スル、特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、特別委員會ハ十二月十五日及十六日ノ兩日ニ互リ開催致シ、審議ヲ進メマシテ、四案共可決スベキモノト決定致シマシタ、先ツ各

法案ノ要點ニ付御説明申上ゲマス、第一ニ農産團體法關係デアリマスガ、其ノ要點ハ現行法ニ於キマシテハ農産團體ハ農業ニ關スル國家御恩ノ機關タル旨ガ強調セラレ、從ツテ官廳的色彩ガ極メテ濃厚ナル性格ヲ有シテ居ルノデアリマス、ソレ故此ノヤウナ根本的性格ヲ改メ、眞ニ自治的活動ノ本義トスル團體タルノ趣旨ヲ明カニシ、此ノ趣旨ニ基キマシテ第一ニ役員ノ制度ニ改正ヲ加ヘムトスルモノデアリマス、即チ現在役員ニハ會長、副會長、理事、監事等ガアリマシテ、會長ハ單獨代表權、或ハ副會長理事ノ任命權ノ如キ強キ権能ヲ與ヘラレテ居ルノデアリマシタ、是等ヲ改メ、役員トシテハ理事及監事ヲ置キ、一般法入ト目録事務執行ノ理事ノ合議ニ依ラシメテ共ニ、其ノ代表權モ各理事ニ有セシムルヤツニ致シテ居ルノデアリマス、改正ノ第二點ハ、役員ノ選任方法ニ關スル改正デアリマシテ、行政官廳ガ會長ヲ任命シ、或ハ副會長理事ノ選任ニ付、認可制度ヲ採ツテ居ル現行制度ヲ改メ、役員ハ一般ニハ、専ラ會員ノ意思ニ依リ總會ニ於テ選任セシムルモノト致シ、市町村農産會ノ理事ニ付キマシテハ、特ニ會員ノ意思ヲ十分ニ反映セシメル爲ニ、直接選舉ニ依ルコトト致シテ居ルノデアリマス、以上ノ外、改正ノ内容トナツテ居リマス點ハ、認可其ノ他行政官廳ノ權限縮小乃至廢止、總動員勅令ニ基ク全國農産會ヲ、本法ニ基ク農産團體ニ改組セル等ノ點デアリマス、次ニ水産業團體法關係ニ付キマシテハ、農産團體ト略、同様に改正ヲ爲シテ居リマスガ、唯異ト異リマス點ハ、水産業團體ノ特殊性ニ基キ、漁業會ノ理事ノ選任ハ選舉ニ依ラズ、總會ニ於

官報號外 昭和二十年十二月十八日 貴族院議事速記第十三號 農産團體法中改正法律案外三件 第一國會ノ議

テ之ヲ爲スコトトシテ居ルコトデアリマス、戰時森林資源造成法關係ニ付キマシテハ、本法ガ戰時中制定セラレタモノデアリマスガ故ニ、名稱其ノ他ノモノガ戰時的ニナツテ居リマスモノヲ、平時化スルコト共ニ、若干ノ所要ノ改正ヲ爲シテ居ルノデアリマス、次ニ蠶絲業法關係ニ付キマシテハ、改正ノ内容ノ第一ハ、日本蠶絲統制株式會社ノ解散ニ伴フ善後措置デアリマシテ、同社ノ保有スル蠶絲價格安定資金ヲ蠶絲業新團體ニ承継セシメル爲ニ、經過措置ノ規定ヲ設クルコト、及ビ今回同社ノ解散ニ伴ヒ、廢止トナリマス蠶絲業統制法中、蠶絲ノ價格調整、又ハ輸出振興上必要ナル命令、簡檢定、生絲検査、企業許可等ニ關スル規定ヲ本法中ニ移シテ居ル點デアリマス、第二ハ、戰時中ノ蠶絲業統制機構ヲ廢止ハ、關係業者ノ自由活動ナル自主的活動ニ依リマシテ、蠶絲業ニ對スル國家ノ要請ヲ充タシ、蠶絲業ノ指導獎勵及ビ統制ヲ行フト共ニ、當面ノ輸出生絲ノ確保ニ必要ナル統制實質ヲ行フ爲ニ、新ニ蠶絲業會ノ制度ヲ設ケテ、日本中央蠶絲會ヲ解散整理スル點デアリマス、第三ハ、原蠶種管理制度ノ改正デアリマシテ、原蠶種ノ製造配付ハ、政府以外ニ出來ナイコトニナツテ居リマシタノヲ改メマシテ、民間ノ優良品種ヲ開クト共ニ、政府ハ民間發見ノ優良原蠶種ヲ公開セシメ、或ハ政府ヘ提出セシメテ、之ヲ製造配付シ得ルコトト致シ、尙原蠶種ノ譲渡ノ禁止ヲ廢シテ自由トスル點デアリマス、第四ハ、蠶種ニ關スル制度ノ改正デアリマシテ、蠶種製造業ハ、地方長官ガ免許スルコトトナツテ居リマシタモノヲ、

今後ハ需給ヲ全國的ニ見ル必要上、免許ヲ主務大臣ノ權限トシテ居ル點デアリマス、右ノ外本改正案ハ、蠶種ノ検査制度其ノ他ニ付キマシテ、若干ノ改正ヲ爲シテ居ルノデアリマス、以上ノ四法案ニ付キマシテ、特別委員會ニ於キマシテハ、各委員ヨリ極メテ熱心ナル質問及ビ意見ノ開陳ガアリマシテ、政府當局亦懇切ナル答辯ガアツタノデアリマスガ、今ソレ等ノ質疑應答ノ中、主ナモノヲ御報告申上ゲタイト存ジマス、農産團體法ニ關シマシテハ、同法第十條中、農産團體ノ目的ノ中ニ「國策ニ即應シ」云々トアリマスノヲ削ツテ居ルノガ、農産會ハ食糧事情ガ逼迫シテ居ル今日、國策ニ關係ナク、自由奔放ニ行動シテ宜イト云フ意味ナク、又サウ云フ思想ヲ與ヘル虞ハナイカト云フ質疑ニ對シテ、政府ハ至ク其ノヤウナ意味ハナク、農産團體法ガ偶、戰時中ニ制定セラレタ爲、農産會ハ、強度ニ官廳的機關タル色彩ヲ持テ、農民ノ自主的協同組織タル性格ヲ失ツタ感ミガアル、其ノヤウナ官廳的色彩ヲ持タシメル根源ハ、本條ニ掲ゲラレタ「國策ニ即應シ」ト云フ語ニ源ヲ發シテ居ルト見レルカラシテ、終戦後ノ今日、官廳ノ別働隊タルガ如キ色彩ハ拭ヒ去ルベキモノト考ヘテ之ヲ削ツタノデアツテ、勿論、現下ノ食糧事情ノ下ニ於テハ、農産會ニ大ニ活動シテ實ハナクテハナラナイノハ當然デアリ、今後ノ指導ニハ官廳ノ信用ノ回復ニモ努力致シ、遺憾ナキヲ期スル所デアルトノ答辯ガアリマシタ、次ニ農産會ハ團體統制ニ依リ、茶業、養蠶、畜産等ヲモ包含スルコトニナツタガ、其ノ爲農産會ノ内部ガ不統一トナツタリ、事務分量ガ大キクナ

リ過ギテ却テ十分ナル活動ガ出來ナイヤウナ状態ニアルガ、是等ヲ分離シテ別個ノ團體ヲ形成セシムル意思ハナイカトノ間ニ對シマシテ、政府ヨリハ、統合ノ理由ハ、農家ガ各團體カラ、不統一ヲ指導ヲ受ケルバカリデナク、經費、其ノ他經濟的負擔ガ過重トナツテ居ツタノヲ救済スル爲ニ、輿論ニ從ツテ、統合シタモノデアアル、統合後、日向淺ク、而モ戰時中十分統合ノ成果ガ擧ツテ居ナイ場合ノアルノハ事實デアルガ、是ハ今後ノ指導ニ依リ矯正シテ參リ、統合ノ實ヲ擧ゲルヤウニ努メタイ、從ツテ、現ニ改組セラレタ統合體ヲ再ビ分裂セシムルガ如キ意思ハナイトノ答辯ガアリマシタ、更ニ現在ノ團體ニハ、馬ニ關スルモノガ、農産會ノ範圍ニ入レテハ如何トノ間ニ對シマシテハ、馬ニ付テハ、鞍馬業者、馬産專業者等ノ關係モアリ、又馬以外ノ畜産トモ併セテ今後ノ方針決定ニ依リ處理シタイト思フ、從ツテ本改正案ニ於テハ、一應問題トシ考慮ハシタガ、結局其ノ具體化ハ今後ノ研究ニ委ネルコトトシタト云フ答辯ガアリマシタ、尙農産會ノ役員ニ付テハ、農産會ノ活動ノ活潑ナルト否トハ、役員ノ如何ニ依ルコトト至ナルモノガアルコトハ勿論デアリマスガ、會員ト農産會トガ遊離シテ居ル現狀ヲ考ヘマスルナラバ、生産供出ニ責任ヲ感ジテ居ル耕作者ニ役員ノ被選舉資格ヲ限定シテハドウカト云フ間ニ對シマシテ、今回ノ改正ニ依リ、市町村農産會ノ理事ハ會員ノ投票ニ依リ選舉ニ依ツテ選出サレルノデアツテ、從來役員ガ官廳ヨリ任命サレタ、會員カラ遊離シテ居タヤウナコト

モナク、眞ニ農民ノ要望ヲ辨シタ人物ガ選舉セラル、コトト思ハレル、從ツテ今被選舉權ヲ制限スルノ要アリトハ考ヘナイト云フ答辯ガアリマシタ、次ニ食糧問題ノ解決上、農業會ノ指導者成ハ極メテ重大ナル、從ツテ内務、農林兩省間ニ於テ密接ナル關係ヲ保持スル必要ガアルト共ニ、從來地方長官ノ更迭ガ頻繁デアツテ、一般ニ地方長官、經濟部長ナド、内務行政官ノ農業會指導ニ對スル熱意ガ不足シテ居ツタヤウニ思ハレルガ、之ニ對スル所見如何トノ質問ニ對シマシテ、農林大臣ヨリ農業ノ技術改善ニハ試験場モ動員シ、特ニ力ヲ入レタイト考ヘテ居ル、サウシテ又内務、農林兩省間ニハ特ニ十分ナル連絡ヲ保ツヤウニ努メテ居ル、例ヘバ過般農林省ノ役人ト、地方經濟部長トノ間ニ大量ノ交流ヲ行ツタガ、將來ハモツト大規模ニ之ヲ實行シテ、農林省ノ役人ニハ實地ノ經驗ヲ積マシメ、地方官ニハ農林省ノ事情ヲ十分知ツテ貰フ考デアル、而シテ農林省ノ立場カラモ、出來ルダケ地方ノ役人ハ其ノ土地ニ長ク止マルコトヲ希望シテ居ルト云フ答辯ガアリマシタ、次ニ水産業團體關係ニ付テデアリマシガ、主トシテ其ノ團體構成ハ農業團體ト略、同様デアリマシノデ、從ツテ其ノ質疑モ農業團體ト共通ナル問題トシテ行ハレタノデアリマス、森林關係ノ質疑ニ付キマシテハ、先ツ國有林野ニ於テ開墾ニ適スルモノハ積極的ニ開放スルノ意思デアリヤトノ質問ニ對シマシテ、農林大臣ヨリ、其ノ方針ノ下ニ目下具體的ニ調査ヲ進メツ、アルノデアツテ、今日ノ時局ノ要請ニ應ズルヤウ遺憾ナキヲ期シ

テ居ルトノ答辯ガアリマシタ、又木材供給ノ將來ニ付テノ質疑ニ對シマシテハ、實情ニ即シ、能ク考慮シテ善處致シタイトノ御答辯ガアリマシタ、更ニ造林ノ重要性カラ見テ豫算上ノ單價ハ、今日ノ造林費用ノ實際ニ適合セヌ處ハナイカト云フ質問ニ對シマシテ、政府當局ヨリ實情ニ副ハナイ點モ生ジテ居ルト思フカラ十分善處スルトノ御答ガアリマシタ、次ニ蠶絲業關係デアリマシガ、申ス迄モナク、蠶絲業ノ振興ハ我國經濟再建ノ上カラ見マシテモ、亦當面ノ食糧輸入ノ見返リ物資トシテノ重要性カラ見マシテモ、蠶絲業ノ振興ガ重要デアリマシノデ、特ニ此ノ點ヲ中心トシテ活潑ナル質疑ガ行レタノデアリマス、先ツ蠶絲獎勵ノ具體的方策如何トノ質問ニ對シマシテハ、蠶絲業ノ振興ニハ、第一ニ蠶絲精神ノ振起ガ必要デアリ、戰時中ニ於ケルガ如キ蠶絲業ニ對スル觀念ノ一擲シ、我が國經濟再建ノ爲ニ、蠶絲業ノ擔ツテ居ル重要性ヲ十分ニ認識徹底セシムル方途ヲ講ジタイト考ヘテ居ル、同時ニ又蠶絲農家ヲシテ、安シク蠶絲ニ邁進セシムル所ノ政策ガ必要デアツテ、之ニハ食糧トノ關係ノ調整、繭ノ價格、現物ノ供給乃至ハ地方還元、必要生産資材ノ手當等ニ互リ適切ナル對策ヲ講ジ、進ンデ蠶絲ノ營ムコトガ出來ルヤウニ政府トシテ十分努力致ストノ答辯ガアツタノデアリマス、尙今後ノ繭絲業ノ回復、繭ノ増産ノ爲ニハ、繭ト食糧トノ綜合供出制度ヲ認メ、繭ヲ供出シタ者ハ、主食糧ノ供出ト同一ニ取扱フ必要ガアルト認メラレルガ、政府ノ意見如何ト云ノ質問ニ對シマシテ、政府ヨリ、現在ノ綜合供出制度ハ直接食糧

タリ得ルモノニ付認メテ居リ、從ツテ繭ノ如キ輸入見返リ品トシテノ間接食糧ヲ綜合供出中ニ加ヘテ、食糧管理特別會計ニ於テ取扱フコトハ困難デアルト思フガ、要ハ蠶絲農家ニ對スル食糧ノ問題デアアル、併シナガラ之ニ對スル食糧ノ増配ハ全國的ニ見ルトナカク、大量トモナルノデ、目下色々ト研究中デアル、何レ之ニ依ツテ適當ナ解決ヲ圖リタイト考ヘテ居ルトノ答辯ガアリマシタ、以上ノ外、四法案ニ付キマシテ、具體的ニ民法ノ各規定ニ互リ熱心ナル質疑應答ガ行ハレマシタガ、詳細ハ速記録ニ依ツテ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、斯ク致シマシテ質疑ヲ終リ、討論ニ入りマシタル處、各法案ニ付賛成ノ意見ノ開陳ガアリマシタ、而シテ各法案ノ運用ニ遺憾ナキヲ期スルト共ニ、特ニ農業團體ノ運営ニ付テハ、第一ニ、現在ノ食糧事情ヨリシテ、其ノ擔フ重要使命ニ鑑ミ、團體ノ綜合性ノ發揮及ビ行政應トノ連絡ニ遺憾ナキヲ期スルト、第二ニ、將來農耕馬ヲ農業團體ノ事業中ニ包含スルヤウ研究スルト、第三ニ、市町村農業會ノ役員ガ今回選舉制度ニナルノデアルガ、團體運営ノ中心ハ飽ク迄モ其ノ人ニ在ルノデアアルカラ、通例選舉ニ伴ヒ起リ勝テ弊害ヲ防止スルヤウニ努ムルコト、第四ニ、農業團體、水産團體共ニ今回改正ニ依リ、大イニ民主的傾向ヲ有スルヤウニナルコトハ至極極構デアアルガ、其ノ基本方向ニ誤ラサナイヤウニ特段ノ留意ヲ要スル等ノ意見ノ開陳ガアリマシタ、斯クテ採決致シマシタ結果、付託四案共全會一致ヲ以テ原案通り可決セラルベキモノト議決致シタノデアリマス、以上ヲ以テ御

- 報告ヲ終リマス
- 議長(公爵徳川國順君) 別ニ御發言モナレバ、四案ノ採決ヲ致シマス、四案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ
- 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
- 議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイト認メマス
- 子爵西大路吉光君 直子ニ各案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
- 子爵樺村家治君 賛成
- 議長(公爵徳川國順君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ
- 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
- 議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイト認メマス
- 子爵西大路吉光君 直子ニ各案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
- 子爵樺村家治君 賛成
- 議長(公爵徳川國順君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ
- 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
- 議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵徳川國順君) 四案ノ第三讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問題ニ供シマス、四案全部、委員長ノ報告通りデ御異議ゴザイマセヌカ
- 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
- 議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵徳川國順君) 四案ノ第三讀會ヲ開キマス、四案全部、第二讀會ノ決議通りデ御異議ゴザイマセヌカ
- 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
- 議長(公爵徳川國順君) 御異議ナイト認メマス

ト認メマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス、議事日程ハ決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後一時五十七分散會

頁 段 行 誤 正
 一四 一 二五 軋念 信念
 貴族院議事速記録第二號正誤

頁 段 行 誤 正
 四九 三 一五 綴リ方 綴リ方
 貴族院議事速記録第五號正誤

印刷局